

下卷 目次

第五編 近代

第一章 明治前半期の地方行政	
第一節 地方行政機構の変遷	
一 府県藩三治制と伊那県	3
二 廃藩置県—筑摩県へ	3
三 戸籍区の設置	4
四 新しい区制（筑摩県時代）	5
五 大区小区制	6
第二節 地租改正	
一 地租改正の意味	7
二 古い形の貢租—明治七年まで	28
三 地租改正事業の経過	27
第三節 村合併の動き	
一 二十二年町村制施行まで	3
二 合併村（阿知村・伍和村）誕生	15
三 長野・筑摩両県合併と郡制施行	22
四 阿知村、三カ村に分離	22
五 四カ村連合戸長役場時期	25
第四節 地租の動向	
一 地租改正の意味	32
二 古い形の貢租—明治七年まで	28
三 地租改正事業の経過	27

1 地券交付のための調査

2 地租改正法公布後の地価調査

3 官定地価の押付け

4 地価修正運動の展開

5 農民自身の手による土地改め出し

第三節 開産社

第四節 学校教育の発足

一 学校創立金・元資金募集

二 学区取締と学校世話人

三 各村学校の創立

四 生徒数・就学率

第五節 明治前半期の産業

一 農業

二 商工業

駒場町の商工業 その他の村の商工業

第六節 交通

陸運公社と中牛馬会社 鉄道「中央西線」の誘

第七節 山林原野

一 官民有林野区分

二 野熊山・弓の又及び大山洞

1 野熊山・弓の又及び大山洞

官有地を奥地へ追込み縮小する 野熊山付き五
カ村と縁を切る 地区民の伐木事業失敗 弓の
又山につき波合村の入会権解消 官林の御料林
への移行と、御料林の払下げ

1 割り山

2 日の入山

3 城山

三 所有・管理関係で変化のあつた入会山

1 割り山

(イ)駒場村の割山 (ロ)栗矢村の割山

(ハ)小野川村の割山

2 私有林野

3 下切山・増ガ沢

4 高野板・中つるね山

致運動 信美索道株式会社起業の企画

事件の発端 横川部落の成立事情と山稼ぎの実

態 駒場区、横川山を大量に売却する 山田小三郎

区を相手に訴訟提起 昭和年代に入り再び訴訟提起

五 部落有林野の村有統一…………… 121

六 恵那山の国家譲渡…………… 125

七 村有林統一とその後…………… 128

第二章 町村制施行以後の村政

——明治二十二年から——

第一節 会地・伍和・智里村の発足…………… 129

一 会地村成立の経過……………

二 伍和村の発足…………… 129

三 智里村の発足…………… 133

四 村税中地価割制限……………

五 町村制自治体の性格……………

五 区の自治運営…………… 141

1 区の会計…………… 138

2 駒場区共有財産（金穀）…………… 134

3 区有林の管理と青年会…………… 133

4 伊那街道長塚橋の橋銭

5 長塚橋の改修……………

六 村政の推移…………… 163

1 明治年代

道路の整備 村役場の新築 学校新築 村財政の内容

2 大正年代

米騒動対策 村財政の内容

3 昭和戦前期

経済不況対策 経済更生計画

4 戦時体制期

財政内容

5 戦後期

財政内容

七 地方政治と平野桑四郎……………

実父原九右衛門 養父平野多郎九 桑四郎…………… 180

八 三ヶ村の村長・助役・収入役…………… 185

第一節 阿智村の成立…………… 190

一 成立までの経過…………… 190

第三節 保健衛生	1 新村名の選定
	2 役場の位置
	3 村章の決定
二 村政の概要	1 合併後の施策と推移
	2 村の財政
合併当時の財政	その後の財政
	村債
3 村の行政機構	4 阿智村の村長・助役 収入役・議會議員
三 村政の主なる事項	1 新庁舎の建設
2 議員定数の減	3 過疎対策事業・広域市町村圏
4 公営住宅の建設	5 飯伊地域広域市町村圏
5 國土調査事業	6 上水道(簡易水道)
6 村合併以前の状況	合併以後の水道建設

231	215	200
一 衛生組合の設立	二 村内開業医師	三 赤痢流行
四 国民健康保険	1 国民健康保険の意義	2 国民健康保険組合の設立
	組合立が村公営となる 阿智村発足後	
第五節 社会福祉	一 明治・大正期と戦前の社会福祉	二 戦後の社会福祉
	三 授産所	四 保育所
	第五節 兵事	
一 徴兵令と兵役	二 軍人援護組織	三 在郷軍人会
272	268	265
265	265	260
257	256	253
253	253	253
248	247	246
247	247	246
246	246	246
239	239	235
235	235	234

四 忠魂碑・慰靈碑

忠魂碑 慰靈碑 記念碑

第九節 戸数・人口の推移

一 戸口の推移 ····
二 人口の構造 ····

四 忠魂碑・慰靈碑

忠魂碑 慰靈碑 記念碑

第九節 戸数・人口の推移

一 戸口の推移 ····
二 人口の構造 ····

第六節 警察・消防

一 駒場警察 ····
二 消防 ····

295 291 291 275

第六節 警察・消防

一 駒場警察 ····
二 消防 ····

295 291 291 275

第六節 警察・消防

一 駒場警察 ····
二 消防 ····

295 291 291 275

第六節 警察・消防

一 駒場警察 ····
二 消防 ····

295 291 291 275

第六節 警察・消防

一 駒場警察 ····
二 消防 ····

295 291 291 275

第六節 警察・消防

一 駒場警察 ····
二 消防 ····

295 291 291 275

第六節 警察・消防

一 駒場警察 ····
二 消防 ····

295 291 291 275

第六節 警察・消防

一 駒場警察 ····
二 消防 ····

295 291 291 275

第六節 警察・消防

一 駒場警察 ····
二 消防 ····

295 291 291 275

第六節 警察・消防

一 駒場警察 ····
二 消防 ····

295 291 291 275

第六節 警察・消防

一 駒場警察 ····
二 消防 ····

295 291 291 275

第六節 警察・消防

一 駒場警察 ····
二 消防 ····

295 291 291 275

第六節 警察・消防

一 駒場警察 ····
二 消防 ····

295 291 291 275

第六節 警察・消防

一 駒場警察 ····
二 消防 ····

295 291 291 275

第六節 警察・消防

第七節 阿知川と発電事業

一 阿知川筋最初の駒場発電所 ····

313

第七節 阿知川と発電事業

第八節 度重なる灾害

一 昭和三十二年災害 ····

313

第八節 度重なる灾害

一 昭和三十四年災害 ····

313

第八節 度重なる灾害

一 昭和三十六年災害 ····

313

第八節 度重なる灾害

第九節 災害

一 昭和三十二年災害 ····

313

第九節 災害

第十節 災害

一 昭和三十六年災害 ····

313

第十節 災害

第三章 交通・通信

第一節 伊那街道から三州街道へ

一 交通制度の変化 ····
二 伊那街道の改修計画 ····

353 353 353

第一節 伊那街道から三州街道へ

一 交通制度の変化 ····
二 伊那街道の改修計画 ····

353 353 353

第一節 伊那街道から三州街道へ

一 交通機関の変遷 ····
二 中馬から荷馬車へ

355 355 355

第一節 伊那街道から三州街道へ

一 交通機関の変遷 ····
二 中馬から荷馬車へ

355 355 355

第一節 伊那街道から三州街道へ

一 交通機関の変遷 ····
二 中馬から荷馬車へ

355 355 355

第一節 伊那街道から三州街道へ

一 交通機関の変遷 ····
二 中馬から荷馬車へ

355 355 355

第一節 伊那街道から三州街道へ

一 交通機関の変遷 ····
二 中馬から荷馬車へ

355 355 355

第一節 伊那街道から三州街道へ

一 交通機関の変遷 ····
二 中馬から荷馬車へ

355 355 355

第一節 伊那街道から三州街道へ

一 交通機関の変遷 ····
二 中馬から荷馬車へ

355 355 355

第一節 伊那街道から三州街道へ

一 交通機関の変遷 ····
二 中馬から荷馬車へ

355 355 355

第一節 伊那街道から三州街道へ

一 交通機関の変遷 ····
二 中馬から荷馬車へ

355 355 355

第一節 伊那街道から三州街道へ

一 交通機関の変遷 ····
二 中馬から荷馬車へ

355 355 355

第一節 伊那街道から三州街道へ

一 交通機関の変遷 ····
二 中馬から荷馬車へ

355 355 355

第一節 伊那街道から三州街道へ

神坂線改修計画	383
五 道路管理関係の変更と整備
国県道 過疎対策による村道改良
第三節 中央自動車道西宮線
中央道建設に伴う特記事項 恵那山トンネル	394
第四節 国鉄中津川線
第五節 通信
一 郵便制度の変遷
二 郵便局
1 阿智郵便局	393
2 河内郵便局	394
3 園原郵便局	394
4 小野川簡易郵便局	394
三 電信・電話
四 有線放送電話
五 地域集団自動電話から一般加入電話へ	405
第一節 産業のうつり変り	407
第二節 産業	407
第三節 産業のうつり変り	407
第四節 産業	407

一 明治期
二 大正・昭和戦前期
三 戦後現代期
第二節 農業
一 井水の開さく
2 駒場大井を中関へ延長	414
2 恩田井	414
開さくの経過 村の対応 現在の恩田井
3 小野川地区の水利
下平大井	412
二 米作
三 麦作
四 その他の普通作
五 蔬菜
六 果樹
1 近代の果樹	437
2 柿	437
七 葉煙草栽培
八 農業構造改善事業
第一節 産業のうつり変り	455
第二節 産業	455
第三節 産業のうつり変り	455
第四節 産業	455

第三節 蚕糸業

一 養蚕 460

二 蚕種製造 460

風穴 460

三 製糸業 460

1 個人製糸工場 460

2 産業組合製糸工場 460

扶桑館 智里館 460

第四節 畜産

一 家畜の移り変わり 474

馬 役肉牛 乳牛 豚 その他の家畜 474

二 伍和村酪農組合農産加工事業 479

三 肉牛生産団地造成事業 480

第五節 農業技術の改良と肥料の進歩

一 農業技術の改良 481

二 農機具 481

三 肥料 481

第六節 農地の所有状況と経営規模

一 明治から昭和終戦時までの状況 487

二 戰後の農地改革 494

青見平開拓 京平開拓 494

第七節 林業

一 林業の経過 502

二 林業の振興 502

三 栽培きのこ しいたけ えのきだけ なめこ 信州しめじ ほんしめじ 502

第八節 農林業団体

一 農会 513

二 産業組合 513

三 農業会 513

四 農業協同組合 513

五 阿智村農業協同組合の発足 513

六 森林組合 513

広域合併による飯伊森林組合 513

一 村移譲 531

二 明治から昭和終戦時までの状況 531

七 栗矢報徳社	537
第九節 商工業	541
一 駒場商店街	541
二 現在の商工業	545
三 工場誘致	550
盟和産業株式会社長野工場	555
第十一節 觀光	560
一 県立公園「富士見台」	560
二 昼神温泉郷	562
公益質屋 銀行 信用組合・信用金庫	562
第十一節 金融機関	562
第五章 村外への発展	569
第一節 海外移民	569
一 ハワイ移民・南米移民	570

二 國策と満州移民	570
1 滿蒙開拓青年義勇軍	570
2 南信濃郷開拓団	570
3 阿智郷開拓団	570
四 団の状況 終戦による離団状況	570
5 满州開拓殉難者	570
6 日中友好手をつなぐ会	570
7 入植の経過 天堤・鎌城その他の開拓 金剛干拓	570
第二節 県・郡外入植	570
第六章 教育	591
第一節 小学校	591
一 会地小学校	591
二 高等科設置 尋常科授業料廃止 高等科四学年設置 校舎新築移転 義務教育年限延長 校地拡張と校舎増築 体操場新築 国民学校と改称	592
三 学童集団疎開 戰後の新学制	592

高等科設置 校舎新築 高等科四年設置 校舎焼失

校舎新築・移転 再度校舎移転 戦後の新学制

三 智里東小学校 614

校舎新築 高等科二学年設置 校地拡張・雨天体操場新築 体操場移転・校舎増築 戰後の新学制

校舎新築移転

四 智里西小学校 619

校舎新築 雨天体操場新築 高等科設置 校舎焼失

校舎新築 戰後的新学制 校庭拡張

五 横川分校 625

校舎新築

六 阿智村発足後 628

校舎新築

七 歴代小学校長 638

1 伍和小学校改築

八 小学校校歌 640

2 横川分校廃校

九 第二節 中学校 641

3 学校給食 共同調理場の建設

十 一 新制中学校 642

4 智里西小学校と会地小学校統合

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 643

三 生徒数の推移 644

四 歴代中学校長 645

五 中学校校歌 646

六 阿智村発足後 647

七 歴代小学校長 648

八 小学校校歌 649

九 第二節 中学校 650

十 一 新制中学校 651

十一 阿智中学校の発足と校舎の建設 652

十二 生徒数の推移 653

十三 歴代中学校長 654

十四 中学校校歌 655

十五 阿智村発足後 656

十六 歴代小学校長 657

十七 小学校開校百周年記念事業 658

十八 小学校校歌 659

十九 第二節 中学校 660

二十 一 新制中学校 661

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 662

三 生徒数の推移 663

四 歴代中学校長 664

五 中学校校歌 665

六 阿智村発足後 666

七 歴代小学校長 667

八 小学校校歌 668

九 第二節 中学校 669

十 一 新制中学校 670

十一 阿智中学校の発足と校舎の建設 671

十二 生徒数の推移 672

十三 歴代中学校長 673

十四 中学校校歌 674

十五 阿智村発足後 675

十六 歴代小学校長 676

十七 小学校開校百周年記念事業 677

十八 小学校校歌 678

十九 第二節 中学校 679

二十 一 新制中学校 680

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 681

三 生徒数の推移 682

四 歴代中学校長 683

五 中学校校歌 684

六 阿智村発足後 685

七 歴代小学校長 686

八 小学校校歌 687

九 第二節 中学校 688

十 一 新制中学校 689

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 690

三 生徒数の推移 691

四 歴代中学校長 692

五 中学校校歌 693

六 阿智村発足後 694

七 歴代小学校長 695

八 小学校校歌 696

九 第二節 中学校 697

十 一 新制中学校 698

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 699

三 生徒数の推移 700

四 歴代中学校長 701

五 中学校校歌 702

六 阿智村発足後 703

七 歴代小学校長 704

八 小学校校歌 705

九 第二節 中学校 706

十 一 新制中学校 707

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 708

三 生徒数の推移 709

四 歴代中学校長 710

五 中学校校歌 711

六 阿智村発足後 712

七 歴代小学校長 713

八 小学校校歌 714

九 第二節 中学校 715

十 一 新制中学校 716

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 717

三 生徒数の推移 718

四 歴代中学校長 719

五 中学校校歌 720

六 阿智村発足後 721

七 歴代小学校長 722

八 小学校校歌 723

九 第二節 中学校 724

十 一 新制中学校 725

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 726

三 生徒数の推移 727

四 歴代中学校長 728

五 中学校校歌 729

六 阿智村発足後 730

七 歴代小学校長 731

八 小学校校歌 732

九 第二節 中学校 733

十 一 新制中学校 734

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 735

三 生徒数の推移 736

四 歴代中学校長 737

五 中学校校歌 738

六 阿智村発足後 739

七 歴代小学校長 740

八 小学校校歌 741

九 第二節 中学校 742

十 一 新制中学校 743

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 744

三 生徒数の推移 745

四 歴代中学校長 746

五 中学校校歌 747

六 阿智村発足後 748

七 歴代小学校長 749

八 小学校校歌 750

九 第二節 中学校 751

十 一 新制中学校 752

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 753

三 生徒数の推移 754

四 歴代中学校長 755

五 中学校校歌 756

六 阿智村発足後 757

七 歴代小学校長 758

八 小学校校歌 759

九 第二節 中学校 760

十 一 新制中学校 761

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 762

三 生徒数の推移 763

四 歴代中学校長 764

五 中学校校歌 765

六 阿智村発足後 766

七 歴代小学校長 767

八 小学校校歌 768

九 第二節 中学校 769

十 一 新制中学校 770

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 771

三 生徒数の推移 772

四 歴代中学校長 773

五 中学校校歌 774

六 阿智村発足後 775

七 歴代小学校長 776

八 小学校校歌 777

九 第二節 中学校 778

十 一 新制中学校 779

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 780

三 生徒数の推移 781

四 歴代中学校長 782

五 中学校校歌 783

六 阿智村発足後 784

七 歴代小学校長 785

八 小学校校歌 786

九 第二節 中学校 787

十 一 新制中学校 788

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 789

三 生徒数の推移 790

四 歴代中学校長 791

五 中学校校歌 792

六 阿智村発足後 793

七 歴代小学校長 794

八 小学校校歌 795

九 第二節 中学校 796

十 一 新制中学校 797

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 798

三 生徒数の推移 799

四 歴代中学校長 800

五 中学校校歌 801

六 阿智村発足後 802

七 歴代小学校長 803

八 小学校校歌 804

九 第二節 中学校 805

十 一 新制中学校 806

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 807

三 生徒数の推移 808

四 歴代中学校長 809

五 中学校校歌 810

六 阿智村発足後 811

七 歴代小学校長 812

八 小学校校歌 813

九 第二節 中学校 814

十 一 新制中学校 815

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 816

三 生徒数の推移 817

四 歴代中学校長 818

五 中学校校歌 819

六 阿智村発足後 820

七 歴代小学校長 821

八 小学校校歌 822

九 第二節 中学校 823

十 一 新制中学校 824

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 825

三 生徒数の推移 826

四 歴代中学校長 827

五 中学校校歌 828

六 阿智村発足後 829

七 歴代小学校長 830

八 小学校校歌 831

九 第二節 中学校 832

十 一 新制中学校 833

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 834

三 生徒数の推移 835

四 歴代中学校長 836

五 中学校校歌 837

六 阿智村発足後 838

七 歴代小学校長 839

八 小学校校歌 840

九 第二節 中学校 841

十 一 新制中学校 842

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 843

三 生徒数の推移 844

四 歴代中学校長 845

五 中学校校歌 846

六 阿智村発足後 847

七 歴代小学校長 848

八 小学校校歌 849

九 第二節 中学校 850

十 一 新制中学校 851

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 852

三 生徒数の推移 853

四 歴代中学校長 854

五 中学校校歌 855

六 阿智村発足後 856

七 歴代小学校長 857

八 小学校校歌 858

九 第二節 中学校 859

十 一 新制中学校 860

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 861

三 生徒数の推移 862

四 歴代中学校長 863

五 中学校校歌 864

六 阿智村発足後 865

七 歴代小学校長 866

八 小学校校歌 867

九 第二節 中学校 868

十 一 新制中学校 869

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 870

三 生徒数の推移 871

四 歴代中学校長 872

五 中学校校歌 873

六 阿智村発足後 874

七 歴代小学校長 875

八 小学校校歌 876

九 第二節 中学校 877

十 一 新制中学校 878

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 879

三 生徒数の推移 880

四 歴代中学校長 881

五 中学校校歌 882

六 阿智村発足後 883

七 歴代小学校長 884

八 小学校校歌 885

九 第二節 中学校 886

十 一 新制中学校 887

二 阿智中学校の発足と校舎の建設 888

三 生徒数の推移 889

四 歴代中学校長 890

</div

二 組合立阿智高等学校	666
三 県立阿智高等学校	668
歴代校長	
第五節 社会教育	672
一 会地公民館の建設	673
二 村民グランドの建設	674
三 公民館の建設	675
中央公民館 地区公民館	
四 公民館運営状況	678
第六節 各種団体	682
一 青年会	682
二 婦人会	690
三 老人クラブ	694
第七章 神社・寺院	699
第一節 朱印地と朱印状	699
第二節 神社	704
一 春日神社（春日）	
二 安布知神社（駒場）	
三 八幡社（古料）	
四 水無社	
五 天満社	
六 八幡社（栗矢）	

七 春日神社（備中原）	8 伏谷社
八 伏谷社	7 九皇大神社
九 九皇大神社	7 二山の神社
十 二山の神社	7 三白鬚神社
十一 三白鬚神社	7 五秋葉社
十二 五秋葉社	7 六法力社
十三 六法力社	7 七安布知神社（横川）
十四 七安布知神社（横川）	7 八大平神社（頭權現）
十五 八大平神社（頭權現）	7 九手羅尾山神社
十六 九手羅尾山神社	7 一伊賀良神社
十七 一伊賀良神社	7 二諏訪社
十八 二諏訪社	7 三八幡社（丸山）
十九 三八幡社（丸山）	7 四神坂神社
二十 四神坂神社	7 第三節 寺院
廿一 七淨久寺	7 一宗円寺
廿二 一宗円寺	7 二常念寺
廿三 二常念寺	7 三普門院
廿四 三普門院	7 4清坂堂
廿五 4清坂堂	7 5常念寺
廿六 5常念寺	7 6福生院
廿七 6福生院	7 7源徳寺
廿八 7源徳寺	7 8金勝堂
廿九 8金勝堂	7 9光明院
三十 9光明院	7 10安樂堂
卅一 10安樂堂	7 11射矢堂
卅二 11射矢堂	7 12松栄堂
卅三 12松栄堂	7 13源徳寺
卅四 13源徳寺	7 14清明堂
卅五 14清明堂	7 15妙見堂
卅六 15妙見堂	7 16庚申堂
卅七 16庚申堂	7 17觀照寺
卅八 17觀照寺	7 18藥師堂
卅九 18藥師堂	7 19廣拯院（月見堂）

第六編 民俗・文化財

第一章 民俗

第一節 家	803
第二節 衣・食・住	803
一 衣服	805
二 食物	805
三 住居	808
第三節 人の一生	810
一 結婚	816
二 出産・養育	820
三 厄年	826
四 年祝	826
五 葬送	827
第四節 年中行事	833

第二章 文化財

第一節 史跡	850
一 神坂峠遺跡	851
二 あふちの関跡	853
三 千人塚古墳	854
四 净久寺の宮崎・市岡墓所	855
五 狐塚古墳	856
六 園原の里	857
七 宗円寺の宮崎墓所	859
八 小野川関跡	861
第二節 有形文化財	862
一 安布知神社本殿・拝殿	862
二 穂屋の薄の句碑	864

三 卯の花の句碑	865
四 浄久寺徳本筆名号碑	866
五 隆芳寺五輪塔	867
六 白隱筆金毘羅大權現碑	868
七 徳本筆名号磨崖碑	869
八 普門院石仏群（三十三所觀音）	870
九 栗矢回り舞台	871
一〇 斗字庚申	872
第三節 民俗文化財	873
一 木槌薬師の里帰り	874
第四節 天然記念物	875
一 市の沢の彼岸桜	876
二 山の神のいぬつげ	877

三 春日神社のこうようざん（広葉杉）	877
四 城坂のやまなし（山梨）	878
五 中関の男杉	879
六 浄久寺のあふちの木	880
七 浄久寺の百日紅	881
八 安布知神社のひいらぎ	882
九 安布知神社のさかき	883
一〇 伊賀良神社の参道並木	884
一一 昼神湯の瀬源氏ボタル発生地	885
阿智村誌資料文書の所在と点数	886
執筆を終えて	887
編集委員・刊行委員会	891
編集後記	894
	897